

Q 幼稚園は どう選べばいいの？

1 「どうやってきめよう？」 幼稚園選びを始める前に

保護者の皆様はお子様をどの幼稚園に入園させたいへん悩むところでしょう。足立区には私立幼稚園が49園あります。どの幼稚園も同じように見えると感じる方もあると思います。しかし、同じようであっても違うところ、違うようであっても同じところがあります。各園の特色をよく理解して、ご家庭の教育方針やお子様の性格に照らし合わせて、幼稚園を選んで下さい。この「幼稚園ガイド」を活用していただくとともに、噂に惑わされず、ご自分の目でいくつかの幼稚園をご覧になっていただくことが大切だと思います。

「幼稚園ガイド」使用の留意点

各幼稚園のページのデータファイルについては以下の点にご留意下さい。

- ①すべてのデータは令和6年4月現在のものです。その後、変更されている場合があります。
- ②通園バスは希望者のみ利用し、その場合は通園バス料金がかかります。
- ③預かり保育を利用した場合は別途料金がかかります。この料金については要件を満たした場合、幼児教育・保育の無償化に伴う補助制度があります。
- ④記載された以外にも費用が発生するものがあります。例えば、保育用品代、月間絵本代、制服代、体育着代、行事費、遠足代など。詳細は各幼稚園にご確認下さい。
- ⑤保育時間は徒歩通園の登園開始時刻と降園開始時刻を記載しました。通園バスを利用する場合はこれとは異なった時間になります。
- ⑥保護者に対する補助金については、6ページ、108ページに掲載しています。



2 入園願書配布と受付

入園願書の配布及び受付は、下記のように足立区私立幼稚園協会の上部団体である東京都私立幼稚園連合会において決定しています。各幼稚園はそれに従って、入園願書の配布や受付を実施しています。入園願書配布の方法は各幼稚園によって異なります。多くの園では、希望者に受け取りに来ていただいています。また、幼稚園の説明会や行事の見学会などを実施している園もありますので、各園にお問い合わせ下さい。入園願書受付後に親子の面接や入園手続きがあります。

3 事前にお問い合わせ下さい

入園願書配布 10月15日から
入園願書受付 11月1日から

保護者の方から見学の時などによく訊ねられる事項のうち、入園時の費用、入園後の費用、給食、預かり保育、保育時間等については、各幼稚園のページに記載されています。また、アトピーによる食物制限がある場合、心身に障がいがある場合、日本語を十分に聞き取ったり話したりできない場合は、事前に各園にお問い合わせ下さい。

※認定こども園の長時間保育お申込み先は区役所となります。募集要項配布・申込受付の時期が異なりますので、事前にご相談ください。
お問い合わせ先：足立区役所 保育・入園課 ☎3880-5263

1 自宅からの距離

ご自宅から通園可能な幼稚園には限りがあります。通園バスを運行している幼稚園もありますが、距離が限られます。徒歩での通園では毎日幼児が通うのですから、もっと狭い範囲となることでしょう。この冊子にある地図をご参考に近くにある幼稚園を数園見つけて、検討して下さい。

2 どんどん見学しよう

幼稚園には様々な雰囲気があります。各幼稚園の子どもの様子や教師の様子、対応する職員の様子からもその幼稚園の姿勢が見えてくることがあります。是非、各幼稚園に行かれて見学することをお勧めします。そして、わからないことは遠慮なくご質問して下さい。なお、見学については、各園に予めお問い合わせ下さい。園外保育等でいない場合や見学期間が決まっている場合もあります。また、ご質問がある場合は、その旨をお伝えしておいた方がよいと思います。

3 見学のポイント

1. 事前に電話をする。各園によって見学期間、見学時間、見学方法等に違いがあります。確認しましょう。
2. 見学する際は、先ず、事務室等の教職員に見学に来たことを申し出ましょう。
3. スリッパ等の上靴を持っていきましょう。
4. 見学方法は各園で様々です。園の方がご案内してくれる園や教室内は入れないが後は自由に見学できる園もあります。
5. 保育中の見学では、保育の妨げにならないように気をつけましょう。
6. 質問等は事前にまとめておきましょう。
7. 最後はお礼を言って帰りましょう。

A 幼稚園選びは じっくり考えて！

（幼稚園選びについてのおおまかな説明です。いろいろな角度から考え、調べてじっくり幼稚園を選ばれる事をおすすめします。）

4 この子にとって どうなのか？

幼稚園選びにはいろいろなポイントがあると思いますが、どなたにも当てはまる基準などはありません。保護者の方がその子に「どんな人間に育ってほしいか」という願いと、その子が「どんな性質であるか」を基準にして、自分の目で確かめて、感性にピンとくるものをとらえていくことではないかと思います。

そして、わすれてならないのは「この子にとって」と言う発想です。誰にとってもいい園がどこかにあるのではなく、「この子にとってはこの園がよい」と言う個別的なものがあるのではないのでしょうか。隣の子にとってはよい園であってもうちの子にとってもそうであるとは限りません。

幼稚園の「教育方針」「教育内容」「教職員の質」「安全と衛生」等を考慮した上で、子どもが楽しく通うことができるか、保護者も楽しく有意義に過ごせそうかなどが大切ではないかと思います。

